

みんなでつくる つづく場 ほろろ みんなの学校

VOL.1 つながる、つづく、つくる鶴居の「つ」をここから

このたび、「鶴居のつづく場・ほろろ会議」（幌呂小学校活用協議会の別称）が立ち上がり、鶴居村役場との協議を重ねて、お試しの幌呂小学校を地域や福祉活動の場として使う「プレ活用」が始まりました。許可をいただき、特定非営利活動法人ソレゾレが地域と協働して進めている取り組みや、日々の活動の様子をお届けします。

はじまり

幌呂小学校の再活用に向けた話し合いと説明会を行いました

2024年度、廃校となった幌呂小学校の今後の活用について、地域の方々を中心に話し合いが始まりました。「もう一度みんなが集える場にしたい」「使いたい」という多くの声を受け、2025年7月14日に旧幌呂小学校で説明会と意見交換会を開催しました。

当日は、地域住民・協議会委員・行政職員・ソレゾレ職員など約50名が参加。参加者からは「地域子どもたちが自由に出入りできる場所に」「世代を超えて集まる居場所に」といった前向きな意見が多く寄せられ、幌呂小学校の新たな活用に向けて一歩を踏み出す機会となりました。



参加人数：約50名

参加者（順不同）

鶴居・釧路管内行政教育委員会・村内企業・地域住民
ソレゾレブリッジ（保護者会）・大学生

つちかう

鶴居のつづく場・ほろろ会議が発足

幌呂小学校の活用に向けて、地域住民や関係者による「鶴居のつづく場・ほろろ会議」が立ち上がりました。役場や教育委員長もアドバイザーとして参加し、後者をどのように地域に開いていくか、今後の活用方法について意見交換を行いました。

「子どもたちも大人も集える場所にしたい」という思いのもと、地域みんなで一歩を踏み出しました。

みんなでつくる

地域みなさんと清掃活動

活動開始にあたり、地域ボランティアや保護者の皆さん、ソレゾレブリッジのメンバーが協力し、教室や廊下の清掃、備品の移動、安全確認を行いました。

「ここにまた子どもたちが来ると思うと嬉しいね」と話しながら、一人ひとりの手で後者が少しずつ整っていきました。

ともに歩む

幌呂小学校プレ活用スタート

2025年10月、鶴居村と幌呂地区協議会のご理解のもと、幌呂小学校のプレ活用（お試し運用）がスタートしました。

まずは、NPO法人ソレゾレが管理責任を担い、放課後等デイサービスのお子さんたちと地域の皆さんが安全に過ごせるよう、少しずつ環境を整えながらのスタートです。かつて子どもたちの声が響いていた校舎に、また笑い声が戻ってきました。

